

2008 年度

科目名	対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生	担当者 山本啓介 農野寛治 岡崎裕子
教育福祉特講		
授業テーマ 「よく生きる」well-being 社会の形成と「教育福祉」の本質 ―学校における福祉の教育―		
授業の概要と目標 すべての人が、この社会で大事にされ、支え合い、『「よく生きる」well-being 社会』を形成していくことは、人類すべてに課せられた共通の究極目標である。well-being（福祉）は、人の「生き方」そのものに課せられた命題であり、教育が求める本質そのものである。 本講義の前半（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）は、学校教育の基盤である「福祉の教育」について研究を深めるとともに、日本の福祉社会を構築し、支えて生きる「人間づくり」について考察をすすめ、自らの教育観を確立する研鑽の機会とする。後半は、教育と福祉の両領域における現代的ニーズをとりあげ、実態把握、社会的背景の分析を試みる。さらに、具体的対応に関する教育的アプローチと社会福祉のリソース利用を学習する。 教育学教員と社会福祉学教員が担当する本講義の特色をいかし、両領域からの最新情報や、教育と福祉の連携のあり方について検討をすすめるると同時に、福祉社会を構築しそれを支えて生きる「人のありよう」について、「人間と福祉」からの考察をすすめる。		
評価方法 (1)日常の学習姿勢・態度 (2)教育小論文・課題報告文 (3)模擬授業の学習実績 (4)臨時テスト (5)人物成長度 等々をもとに、総合的に評価する。		
テキスト 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領（福祉科編）	著者 文部科学省	出版社 独立行政法人印刷局
参考書 適時、紹介する。また、資料は必要時に配布する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 Ⅰ. 「教育の本質」と教育福祉 (1)教育基本法の精神 (2)学校教育と教育福祉 (3)教育福祉がめざす目標・内容・方法・評価 (4)小・中学校における教育福祉の展開 (5)高等学校福祉科の教育 Ⅱ. 学習指導要領と「福祉」の教育活動 (1)全体活動にある「福祉」の指導と学習 (2)各教科にある「福祉」の指導と学習 (3)道徳にある「福祉」の指導と学習 (4)特別活動にある「福祉」の指導と学習 (5)総合的学習の時間にある「福祉」の学習と指導 Ⅲ. 「教育福祉」の推進と方法 (1)今、求められる学校 (2)学校教育課程の基盤「教育福祉」の管理と運営 (3)保護者との連携活動 (4)地域社会・福祉施設との連携活動 (5)教員の資質能力向上と研修 ・学習のまとめ（前期） ・自己学習評価 Ⅳ 子どもの問題を抱える家族へのソーシャルワーク (1) ソーシャルワーク概説 (2) エコロジカル・アプローチ (3) 模擬事例の検討 (4) 相談支援 (5) 所属機関での体制をとる (6) 連携機関 (7) まとめとして 対人援助における倫理観 Ⅴ 特別支援教育の現状と課題 (1)(2) 現状の分析 (3)(4)(5) 指導法をめぐって (6)(7) 課題と対応 Ⅵ 総括		